

3、ホテル併設健康リハビリセンター パースキュンペサ・イロマンチ Pääskynpesä

イロマンチ湖と手付かずの自然環境にある普通の滞在型ホテル
併設で介護施設があり、入所者は自由にプールも利用できる

一般客用ホテル



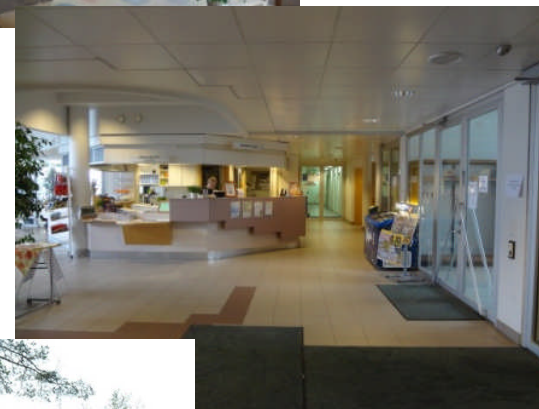
2,3階部分が介護施設

一般客用ホテル



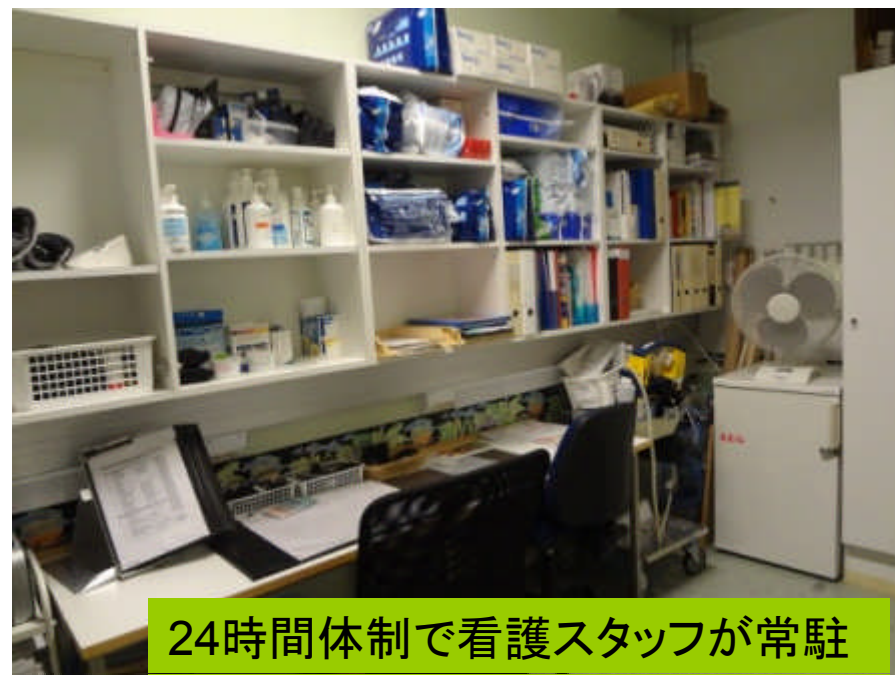
プール



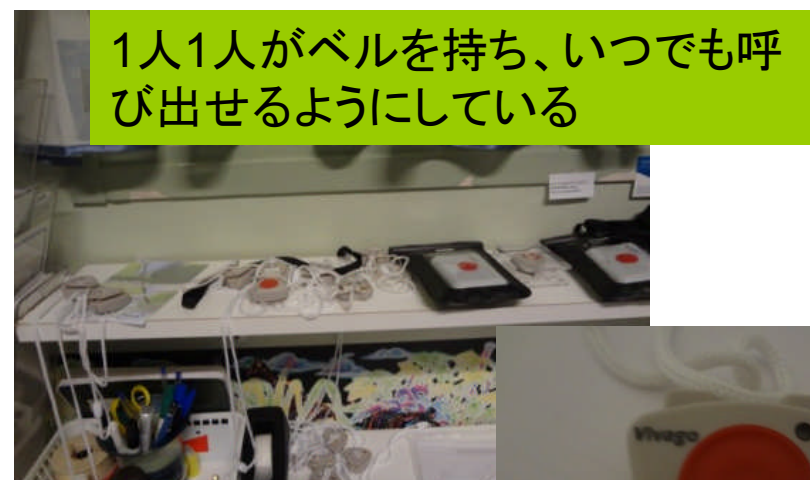


家族で楽しめるリゾートホテル

併設の介護施設



24時間体制で看護スタッフが常駐



1人1人がベルを持ち、いつでも呼び出せるようにしている





居室



栄養教室：糖尿病患者などに栄養士が栄養教育をする。
各種メーカーのシリアル等が置いてあり、具体的に栄養のバランスなどのレクチャーをする。料理教室もする。



散歩 コース



滞在型の健康センター

栄養指導・運動指導・各種のセラピーが希望すると無料で受けられる

ホテル代金 1泊55ユーロ(約5500円) ジム・プール・サウナ使用可・朝食付
介護施設 月約1000ユーロ(約10万円) ショート・長期可能
24時間ナース常駐・セラピー/サウナ/ジム/プール付き すべて無料
同系列の他施設に自由に行き来し、同一料金で滞在する事も可能

3種類の福祉施設についての考察

- 1、特別養護老人ホーム
- 2、介護施設と病院とサービスホーム
- 3、ホテル併設健康リハビリセンターと介護施設

- ✿ 1, 2は公的支援で無料
3は民間施設。手当などで安く利用できる。
- ✿ 1の特養ではセラピストはいなかった。セラピストが特別な事をするのではなく、介護士が日常として園芸や散歩と一緒に楽しんでいた。
- ✿ 2, 3の病院や健康センターには常駐セラピストが存在。スタッフとして働いていたり、入院患者が個人的に雇用し病院や施設に派遣されたりしていた。
- ✿ 各人にナースコールの腕輪を渡し、ボタンを押すと介護士の携帯が鳴るようしくみの集中管理システムが導入されていた(3か所とも同じシステム)。
外気浴の時、好きな場所で高齢者を1人にできるのも、戻りたくなったらコールできるシステムの恩恵。
- ✿ 夏は特に外気浴や園芸療法を実施し、長い冬はクラフトやアートセラピーを行う。自然素材のクラフトも多い。
- ✿ どの利用者も顔つきが明るく、生活に満足していると言っていたのが印象的
- ✿ 福祉施設に自然療法を取り入れることの重要性を再度考えさせられた



中心は松ぼっくり、花卉は年輪のある木を斜めに切って年輪にそって色を塗ってはなびらにしている(3の施設でのクラフト)